

分画事業における経営ビジョン

一般財団法人 化学及血清療法研究所



目的（定款）

生物学的製剤等の研究・開発を行うと共に、それらを応用した人体用並びに動物用の医薬品等の製造と供給に従事し、広く公衆衛生の進歩を図り、兼ねて自然科学の昂揚に資することを目的とする。

ミッション

生物学的医薬品の開発と供給を通して、感染症や疾病の予防と治療に貢献し国民の健康に寄与する。

1. 人体用ワクチン、**血漿分画製剤等の生物学的製剤の研究・開発・製造・供給**及び臨床検査**を通じて国民の健康を守る。**
2. 動物用医薬品の研究・開発・製造・販売を通じて、動物の健康を守り、ひいては安全な食品の安定供給、並びに人獣共通感染症等の公衆衛生に貢献し、国民の健康に寄与する。
3. パンデミックワクチンや痘瘡ワクチン等の開発、備蓄を通じて、国家安全保障体制、国民防衛の重要な一翼を担う。
4. 生物製剤メーカーとしての自覚と誇りを持ち、さらなる技術の蓄積と進化を続け、わが国の医学と生命科学の発展に貢献するとともに、医療機関、大学・研究機関、医療技術者養成への支援を行う。
5. 熊本に根差した地場の企業として、従業員とその家族を守り、地球環境保全、地方創生、地域の発展に寄与出来る企業となる。

1. 安定供給

将来に亘って高品質な製品の安定供給が可能な体制を構築する

2. 国内自給

国内自給を基本方針とし、国内自給の達成に向けて努力する

3. 献血血液の有効活用

新製品の開発、国内未利用品の海外輸出の可能性を検討し、献血血液の更なる有効活用を目指す

4. 経営基盤の強化

自己努力に加え、他社と様々な協力体制を構築し、経営基盤の強化を目指す

1. 製品の安定供給の継続

- 安定供給が可能な生産計画の立案と実施
- 各製剤の適切な薬事対応

2. 信頼性保証体制の強化

- コンプライアンス遵守の徹底
- 医薬品品質システムの再構築

3. アンメットメディカルニーズ対応の確実な進捗

- 新製品開発等による献血血液の更なる有効活用
- 適応拡大（ベニロン）
- 改善改良（利便性向上、ボルヒール新規デバイスの開発）

4. ユーザー目線の適切な情報提供と収集

- 信頼回復へ向けた取り組み
- 営業活動の正常化

5. コスト競争力確保/経営基盤の強化

- コスト削減と更なる生産性向上
- 原料血漿価格への対応、薬価の維持に向けた活動

6. その他

- 関連省庁、販社、分画メーカーとの連携を強化し、日本の血液事業に貢献する
- 患者様、患者団体、医療関係者とのコミュニケーションを積極的に行う

原料血漿の価格について

- ✓ 製造原価に占める原料血漿の割合が高いがため、原料血漿の価格上昇は事業の採算性に大きな影響を及ぼす。厚生労働省には今後も日本赤十字社との価格調整をお願いしたい。

薬価の維持について

- ✓ 度重なる薬価改定により、主力品の免疫グロブリン製剤の薬価は発売当初の40%程度まで低下している。設備の維持・更新を適切に行い、安定供給を継続していくためには安定した収益が必要であることから、主力製品の基礎的医薬品へのエントリー等、薬価維持への対応をお願いしたい。